１．件名：「ＪＭＴＲ使用済燃料要素の米国返還に係る準備作業について」に関する面談

２．日時：令和２年７月８日（水）１３時３０分～１４時１０分

３．場所：
（１）原子力規制庁２階会議室
（２）日本原子力研究開発機構大洗研究所及び東京事務所
※本面談は、テレビ会議にて実施

４．出席者
（１）原子力規制庁
原子力規制部　核燃料施設等監視部門
二宮上席監視指導官、栗崎企画調査官、伊藤企画調査官、福吉主任監視指導官、小野主任監視指導官、木村主任監視指導官、小野原子力運転検査官、小島係員
（２）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所 材料試験炉部　次長　他６名

５．要旨
（１）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「ＪＡＥＡ」という。）から、ＪＡＥＡ大洗研究所の材料試験炉（以下「ＪＭＴＲ」という。）の使用済燃料要素の米国返還に係る準備作業について、資料に基づき説明があった。
（２）本件は、ＪＭＴＲ運転当時の過去にも実績のあるものであり、その中で、輸送容器への使用済燃料要素の封入について、従前は原子炉建家からカナルを通して連結、隣接するホットラボ施設において行っていたが、ＪＭＴＲは廃止措置計画認可申請中であり、今後原子炉の運転を行わないことから、時間短縮や利便性、輸送容器の場所の確保等の観点から、今後の準備作業は原子炉建家内で行うとしている。
（３）原子力規制庁から、作業場所の変更に係る作業手順書の変更等を確実に行うこと、現地原子力規制事務所に情報を共有すること、原子力規制検査においてフリーアクセスで確認を行う可能性があること、新検査制度により、輸送に係る申請、確認事項等が変更になっているので、確認すること等を伝えた。

６．配付資料
（１）原子力機構からの配付資料
・　ＪＭＴＲ使用済燃料要素の対米返還に係る準備作業について
・　参考１　国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（北地区）ＪＭＴＲ原子炉施設（材料試験炉）に係る廃止措置計画認可申請書（抜粋）
・　参考２　ＪＭＴＲ原子炉施設に係る廃止措置計画の概要について（抜粋）
・　参考３　ＪＭＴＲ原子炉施設に係る廃止措置計画について（審査会合資料）